

外来診療担当医表

■ 診療時間 午前 8:30~12:30 午後 13:30~17:30

診療科目		月	火	水	木	金	土	日
内 科	一般内科	佐藤 (午前のみ) 内之倉 (第2・4週) 吉田 (第1・3週)	内之倉 牧野	木 村	田 中	内之倉 木 村	当番医師	
	一般内科 腎臓内科	永 野	永 野	永 野	永 野			
	循環器内科			田 中				
	代謝内科						九州大学	
	神経内科				原 (第2・4週)			
	血液内科	白 藤 (第2週目)						
整形外科 リハビリテーション	午 前	福岡大学	整形外科担当医 (10:00過ぎ~)	整形外科担当医 (10:00過ぎ~)	木山/松田	福岡大学 (10:00過ぎ~17:00)	福岡大学 (第2・4週)	
午 後								
小児科		吉 田 (午後のみ)		吉 田 (午後のみ)	吉 田 (午後のみ)	吉 田 (午後のみ)		
耳鼻咽喉科		長崎大学 (9:30~)	長崎大学 (12:30迄)			長崎大学 (9:30~)	長崎大学 (12:30迄)	
精神科					精神科担当医 10:00過ぎ~ (第1・3週)	精神科担当医 (第1・3週)		
泌尿器科		宮 崎 (午前のみ)	宮 崎 (午前のみ)	宮 崎 (午前のみ)	宮 崎 (午前のみ)	宮 崎 (午前のみ)		
眼 科							九州大学 (第2・4週)	
皮膚科			武 田 10:40~ (第1・3・5週)					
人工透析		永 野	木 村	木 村	永 野	永 野	永 野	
消化器検査(内視鏡)			清 水	清 水	清 水			
(内科系)午後担当医		師岡(第1・3・4週) 白藤(第2週)	内之倉	田 中	木 村	田中/吉田/牧野 (交代で)	当番医師	当番医師

【備考】

- 内科系の午後診療は、当番制となっております。
- 内科/発達小児科/精神科/泌尿器科/眼科においては「予約制」を導入しております。
- 休診日は、祝日午後・土曜日午後及び日曜日。時間外・休日等は、当番医師にて急患対応致します。



交通アクセス

- 天草空港より車で25分
- 本渡バスセンターよりバスで40分
- 天草慈恵病院前 停留所下車 徒歩2分



救急告示病院
社会医療法人 稲穂会
天草慈恵病院



ホームページ URL → <http://www.inahokai.com/>

■熊本県天草郡苓北町上津深江278-10

社会医療法人稻穂会 天草慈恵病院	TEL 0969-37-1111(代)
医療連携室	TEL 0969-37-1150
健診センター	TEL 0969-37-1730
通所リハビリテーション 濡蕩館	TEL 0969-37-1202
温泉プール 悠游館	TEL 0969-37-1111
ケアプランサービス JCS24	TEL 0969-37-1111
訪問看護ステーション はまゆう	TEL 0969-37-0288
ヘルパーステーション JCS24	TEL 0969-37-1111
介護老人保健施設 慈恵苑	TEL 0969-37-1567
天草慈恵病院 介護医療院	TEL 0969-37-1111

■熊本県天草郡苓北町富岡2228-16

住宅型有料老人ホーム 和	TEL 0969-35-0171
--------------	------------------

■熊本県天草市河浦町河浦4660-1

訪問看護ステーションはまゆうサテライト河浦	TEL 0969-76-0101
-----------------------	------------------

医療・介護・福祉の総合的・複合的サービス提供

天草慈恵だより

AMAKUSA JIKEI HOSPITAL

2026 VOL.52 1月号

発行：社会医療法人 稲穂会 天草慈恵病院



CONTENTS

- 理事長新年のご挨拶
- 早期臨床体験学修
- 糖尿病教室
- 秋の文化展 ほか

新年のご挨拶



2026年の新春を迎え謹んで新年のお慶び申し上げます。

近年、全国的に人口構造の変化や医療需要の偏在が進む中、地域に応じた医療提供体制を整える「地域医療構想」の重要性が一段と高まっています。天草地域においても、急性期から回復期・慢性期、そして在宅医療へと切れ目なく支える体制づくりが、これまで以上に求められています。

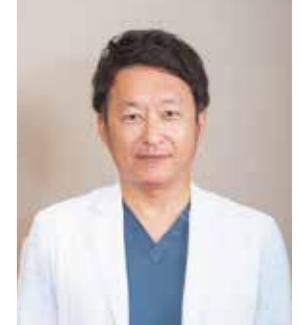
その一方で、救急医療体制の維持、医療従事者の確保、地域偏在の是正、在宅医療の充実など、地域医療には多くの課題が存在することも確かです。こうした状況だからこそ、医療・介護・福祉が連携し、地域全体で患者様を支えていく取り組みがますます重要になると感じています。

当院としても、各医療機関や介護施設との連携をより一層深め、地域包括ケアの中心的な役割を果たしていきたいと考えております。急性期から在宅までをつなぐ途切れの医療・介護の提供、病院間・施設間のスムーズな連携支援、訪問看護や多職種協働によるケア体制の強化等、天草地域が持つ強みを活かしながら、と共に取り組みを進めてまいります。

また、医療DXの推進や災害時医療体制の整備、地域住民の健康づくりへの参画など、地域医療を支える基盤づくりも重要なテーマです。本年は、これらの取り組みを一つひとつ着実に進め、未来の天草医療を支える環境整備にも力を注いでいきたいと考えております。

人口減少が進む天草においても「安心して暮らし続けられる医療」を守り抜くことが私たち医療者に課された使命です。当院はこれからも良い地域医療を目指して努力してまいります。

本年が皆様にとって健やかで実り多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



社会医療法人 稲穂会 理事長 永野 忠相

天草慈恵病院の『回復期リハビリテーション病棟』

天草慈恵病院では、急性期治療後の患者様に対し医療専門医(医師・看護師・ケアワーカー・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ソーシャルワーカー・薬剤師・管理栄養士等)がチームを組んで「日常生活動作向上、寝たきり防止、家庭復帰」を目標に専門的リハビリテーションプログラムを実施しています。

最近の退院事例

B様はA病院にて加療後、リハビリ目的で当院へ転院。当初は右上下肢麻痺の影響で車椅子を使用する等、生活動作に介助を要していました。

理学療法で下肢機能訓練や基本動作訓練、歩行訓練を作業療法で、上肢、手指機能訓練や日常生活動作訓練を実施しました。退院時には屋内独歩自立、屋外は下肢装具を作成し、装着下で杖歩行自立レベルまで改善しました。生活動作では更衣等の一部にわずかな介助は要しますが、他は自立レベルまで改善しました。

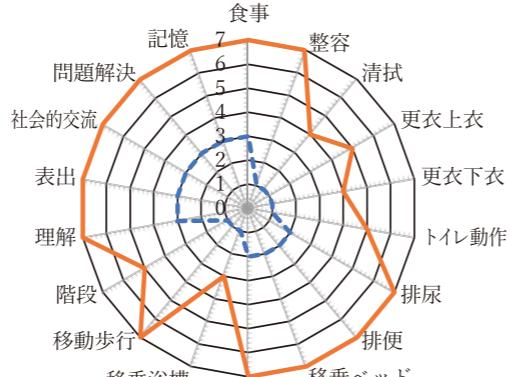
言語聴覚療法では構音障害に対し介入し、改善を認めました。嚥下面の問題もなく経過したため、約2ヶ月の介入で終了。

退院前にご本人と自宅訪問を行い、動作確認と環境調整を行いました。入院中に介護保険を申請し認定されたため、福祉用具のレンタルと住宅改修を行いました。

転院から約2ヶ月半で退院。退院後にご自宅でできる訓練を指導し、自宅周囲の散歩も含め継続していただくよう提案しました。

FIM	入院時	退院時
食事	3	7
整容	1	7
清拭	1	4
更衣上衣	1	5
更衣下衣	1	4
トイレ動作	1	5
排尿	2	7
排便	2	7
移乗ベッド	2	7
移乗トイレ	2	7
移乗浴槽	1	3
移動歩行	1	7
階段	1	5
理解	3	7
表出	3	7
社会的交流	3	7
問題解決	3	7
記憶	3	7

FIM



	入院時	退院時
FIM 運動計	19	75
FIM 認知計	15	35
FIM 計	34	110

回復期リハビリテーション病棟のお問合せ先

■天草慈恵病院
代表TEL **0969-37-1111**

■医療連携室
直通TEL **0969-37-1150**
直通FAX **0969-37-1160**

早期臨床体験学修

早期臨床体験学習とは、医学部生が医療・福祉現場で短期間の体験を行う教育プログラムで、医療人としての自覚形成、将来の目標明確化、他職種連携の理解などを主な目的としています。

当院にも11月17日から5日間、熊本大学3年次生の2名が早期臨床体験学修のため実習されました。「地域医療を学びたい」という熱い想いから当院を選んでいただき、お二人とも大変熱心に取り組んでいらっしゃいました。

今回の実習体験が、お二人の未来に何かしらの糧となりましたら幸いです。



土曜日外来のご案内

整形外科

当院の整形外科では月～金曜日までの外来診療の他、土曜日も外来診療を行っております。

土曜外来診療日(2026年1～2月)

1月の診療は **10日・24日**

2月の診療は **14日・28日**

担当医

8:30～14:30

福大整形外科 医師



「世界糖尿病デー」～糖尿病教室を開催～

11月14日は、世界糖尿病デーです。当院ではこれに併せて「糖尿病教室」を開催しました。

今回のテーマは「間食について」です。間食をする時も、なるべく血糖値が急激に上がらないようなものを食べる等、その対策についての具体的な説明がありました。

参加者には栄養課お手製のおやつ(おからパウダーで作ったバナナマフィン)が配布され、参加者も喜んでいらっしゃったようです。



秋の文化展

当院では、11月23日から毎年恒例となった「秋の文化展」を開催しました。入院患者さまをはじめ、通所リハビリ、老健施設、介護医療院をご利用中の皆さまによる多彩な作品が並び、館内は温かな雰囲気に包まれました。絵画、書道、手工芸など、日頃のリハビリや生活の中で生まれた力作が勢ぞろいし、来場された方々からは「元気をもらえた」「皆さんの努力が伝わってくる」といった声が寄せられました。

作品を通じて、ご利用者さまの個性や想いが感じられる、心豊かな文化展となりました。

